―はじめに―

中学受験のプロの声をもとに、最新のデータと近年の入試問題をとことん研究してつくられた教材――それが「社会ファイナル」です。

＜本書の使用方法＞

本書は大別すると、「ベーシック編」、「実戦編Ａ」、「実戦編Ｂ」の３つの目的別に分類された問題構成となっております。以下はその内容と使用方法です。

ベーシック編： 中学入試における、**中堅校～上位校ランクの学校で８割方必要とされる基礎知識**です。毎年多くの学校で普遍的に出題され、また、近年の入試傾向を反映した基礎知識を出題します。**一問一答形式なので、素早く基礎知識の確認**ができます。また、不確かな知識を反復学習で定着させることにも最適です。特に重要度が高い問題には☆印をつけているので、時間のないときや、最後のまとめなどに活用できます。

実戦編Ａ： 中学受験における、**最上位ランクの学校で８割方必要とされる知識**です。ベーシック編でも出題された普遍的な知識を入試問題を通じて様々な角度で問うことで、その知識を定着させるための問題です。同じ答えでありながら、別の角度で問いかけたり、問題を解くために**本文を読むことを通じて知識そのものの「背景」をとらえる訓練**になっていきます。
※解き直しなどを行う際には、その問いのみの演習を行うのではなく、その問いが含まれている大問・本文ごともう一度復習していくとより効果的な学習が出来ます。

実戦編Ｂ： 中学受験における、最上位ランクの学校で合否の分かれ目を左右する１～２割の配点分をカバーする内容です。その場で与えられたテーマに対して、正しい基礎知識と、正しい思考のプロセスを持つことで、出題者の意図（つまり学校がどういう考えを持つ生徒を求めているか）を探求していきます。一見、難解な問題であっても、基礎知識とその場で提示された本文や資料や、一般常識的な感覚（素直に感じる気持ち、子供には意外と難しい。）を結びつけることで解答が可能な問題です。
※課によって、実戦編Ｂがないものもあります。

＊ご家庭で学習する際には下記のようなご使用方法がございます。
①じっくり６０日間コース…「ベーシック編」＋「実戦編Ａ」により基礎知識の定着確認。
②直前３０日間完成コース…「実戦編Ａ」から解いていくことより定着力のチェック＋ベーシック編で苦手分野の補強を行う。
③最上級者コース……「実戦編Ｂ」のみを行い、最上位校に必要とされる視点や考えが出来ているかを確認。

目　次

1 旧石器～弥生時代……Ｐ２～
2 大和～飛鳥時代……Ｐ９～
3 奈良・平安時代……Ｐ１６～
4 鎌倉～安土桃山時代……Ｐ２６～
5 江戸時代……Ｐ３５～
6 明治・大正時代……Ｐ５０～
7 昭和・平成時代……Ｐ６３～
8 文化の流れ……Ｐ７３～
9 外交の移り変わり、経済・産業・社会・生活の発達……Ｐ９２～
10 人物史～歴史をつくった１５０人～……Ｐ１１０～
11 歴史総合……Ｐ１２０～

日本の歴史1　―旧石器～弥生時代―

【ベーシック編】

☆問１　次の表の（　　）にあてはまることばや数字を答えなさい。

時代	年代	おもなできごと	中国
旧石器	約数十万年前	（　1　）象やオオツノジカなどが生息 →長野県の（　2　）遺跡から化石とともに（　3　）石器が出土 →群馬県の（　4　）遺跡からも（　3　）石器が出土	前漢
縄文	約１万２千年前 ～紀元前 3 世紀頃 （紀元前 5 世紀頃）	＜人々のくらし＞ ・（　5　）の発明→食料の（　6　）や（　7　）が可能になった。 ・狩猟採集を行いながら、（　8　）にすむ。 ・石を磨いてつくった（　9　）石器の使用 ・魔よけや安産をねがって（　10　）をつくり、祈った。 →（　11　）からくらしのようすがわかる…東京都の（　12　）が代表的 ○自然に頼る不安定な「（　13　）の差」が無い社会	
弥生	紀元前 3 世紀頃 （5 世紀頃）	＜人々のくらし＞ ・（　14　）の開始 ・台地から（　15　）へ移動し、水田のそばで生活 ・金属器の伝来 （　16　）→おもに武器や農具などに使用 （　17　）→おもに祭器として使用 ・うすくてかたい（　18　）がつくられる。 ・人口が増加し大きな集団で生活を行う→集落が（　19　）に発展 ○「（　13　）の差」がうまれる。 →他の（　19　）との間に争いがおきる。 →有力な（　19　）は弱い（　19　）を吸収して（　20　）へと発展	
	紀元前 1 世紀頃	中国の歴史書…「楽浪郡のかなたに（　21　）人が住んでいて、100 あまりの国に分かれている。」（「漢書」地理志）	
	1 世紀中頃	中国の歴史書…「（　21　）の（　22　）国の使いがきたので、金印を授けた。」（「後漢書」東夷伝）	後漢
	（　23　）世紀頃	中国の歴史書…「人々は稲や麻を植え、蚕を飼い……税を納めており、市も開かれている。……（　24　）はもともと男子が王であったが、国が乱れたので女性を王にした。その名を（　25　）という。」（「魏志」倭人伝）	三国時代

問２　次の問いに答えなさい。

1　西暦とはだれが生まれたと考えられている年を紀元１年として数えていますか。その人物名を答えなさい。
（　　）

2　21 世紀とは西暦何年から何年までをいうか答えなさい。
（　　）年から（　　）年

3　日本で初めて 645 年に定められた元号を答えなさい。
（　　）

☆4　旧石器時代に使用されていた、石を砕いて作られただけの石器を何といいますか。
（　　）

☆5　日本の旧石器文化の研究のきっかけとなった、群馬県の遺跡名を答えなさい。
（　　）

6　マンモスやオオツノジカなどの化石が発見された、長野県の遺跡名を答えなさい。
（　　）

7　縄文時代の人々が食料を得るために行っていたことを２つ答えなさい。
（　　）（　　）

☆8　縄文時代の人々が食料の食べかすなどを捨てていたゴミ捨て場を何といいますか。
（　　）

☆9　縄文時代の人々が住んでいた住居を何といいますか。
（　　）

☆10　縄文時代の人々が、魔よけのために土でつくった人形を何といいますか。
（　　）

☆11　大規模な集団生活を行っていたことがわかり、これまでの縄文時代の常識をくつがえした青森県の遺跡名を答えなさい。
（　　）

☆12　縄文時代の土器と比べた弥生時代の土器の特徴を答えなさい。
（　　）

☆13　弥生時代の人々が、稲穂を刈り取るために使っていた道具を何といいますか。
（　　）

☆14　弥生時代の人々が、収穫した稲を保管していた倉庫の名前を答えなさい。
（　　）

☆15　弥生時代の水田の跡地が発見された、静岡県にある遺跡名を答えなさい。
（　　）

☆16　周囲を堀でかためた環濠集落が発見された、佐賀県にある遺跡名を答えなさい。
（　　）

17　弥生時代の人々は、どのような地形の場所に集落をつくっていたか答えなさい。
（　　）

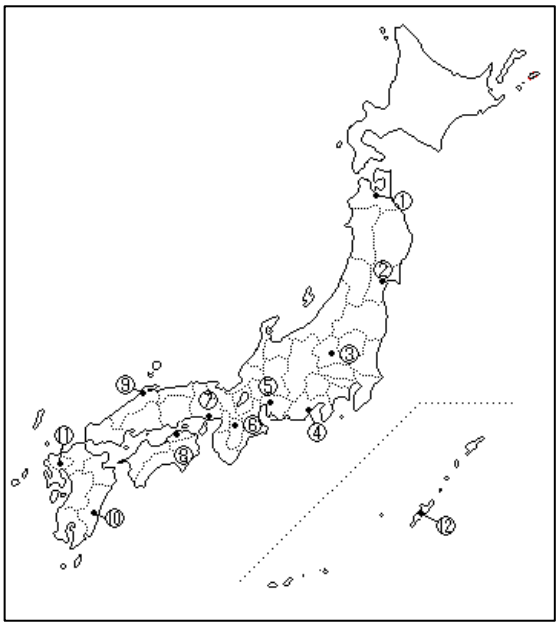
18　近畿地方などで多く発見される、青銅のつりがねのような形をした祭器を何といいますか。
（　　）

19　稲作が始まり、争いが繰り返されたことで、ムラは何に発展していったか答えなさい。
（　　）

☆20　1 世紀の半ば頃、中国に使者を送り金印を授けられた国の名前を答えなさい。
（　　）

☆21　3 世紀の半ば頃、中国に使者を送った卑弥呼という女王が治めていた国の名前を答えなさい。
（　　）

【実戦編Ａ】



1.　①人類は、誕生してから数百万年にわたり、木の実を採ったり狩りをしたり魚や貝をとったりして生活してきました。今から１万年ほど前、最後の（　1　）がおわり地球が温暖化し、農耕や牧畜がはじまって、人類の生活は一変しました。この改革を食料生産革命といいます。やがて大きな河川の流域に世界４大文明が誕生することになりました。

日本では、１万２千年ほど前から独特の土器や貝塚を特徴とする（　2　）がはじまりました。やがて、大陸から稲作の技術や金属器がもたらされて、今から約 2300 年前に本格的に稲作がはじまりました。弥生時代には、村のように小さな国々があったことが中国の古い歴史書からもうかがい知ることができます。②弥生時代の集落の遺跡としては吉野ケ里遺跡や登呂遺跡などがあります。やがて、小さな国々が大きな国にまとまっていったと考えられています。そうした国として中国の歴史書『魏志（ぎし）』倭人伝にでてくる（　3　）国があります。それによると、卑弥呼が女王になったことや 30 余りの国々を従えていたことがわかります。

問１　文中の（　1　）～（　3　）にあてはまることばをそれぞれ答えなさい。

1（　　）　2（　　）　3（　　）

問２　下線部①について、次の問いに答えなさい。

(1) このように、人類が採集･狩猟･漁労の生活を行っていた時代を、何時代といいますか。

（　　）時代

(2) 今から 50 年以上前、第二次世界大戦が終わって間もないころに、相沢忠洋氏が発見した(1)の時代の遺跡のある場所の番号を地図中から選び、番号で答えなさい。

（　　）

問３　下線部②について、次の問いに答えなさい。

(1) 吉野ケ里遺跡のある場所の番号を地図から選び、その場所のある県名を書きなさい。

番号…（　　）、県名…（　　）

(2) 登呂遺跡のある場所の番号を地図から選び、その場所のある県名を書きなさい。

番号…（　　）、県名…（　　）

2.　次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

縄文時代の日本列島の人々は、狩猟・①漁労･採集の生活におわれていました。住居の多くは（　　）といい、地面を浅く堀り、草で屋根をおおったつくりでした。②貝塚は当時の人々の食べた貝がらが積もったところで、ここからは土器･石器のほか、魚・動物の骨なども見つかります。

縄文時代の終わりごろになると、稲作がはじまりました。稲作の普及により農業の道具も発達しました。弥生時代の後期になると、水田は用水を引き、あぜで区画され、水田を耕すために(ｱ)青銅器製のくわ、また、田の中を歩くための(ｲ)田下駄、収穫の時に稲の穂をつみとる(ｳ)石包丁、また、収穫した米を貯蔵するための(ｴ)高床倉庫も作られました。

農業の発達により定住生活が進むなかで、村のさしずをする首長があらわれてきました。そして力の強い村が、しだいにまわりの村を従えるようになり、③各地に小さなクニができました。

問１　文中の（　　）にあてはまる、当時の住居の名前を答えなさい。

（　　）

問２　下線部①について、釣り針に使われた道具を何といいますか。次のア～エの中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア　打製石器　　イ　磨製石器　　ウ　鉄器　　エ　骨角器

（　　）

問３　下線部②について、1877 年に大森貝塚を発見したアメリカの動物学者は誰ですか。次のア～エから一人選び、記号で答えなさい。

ア　クラーク　　イ　モース　　ウ　ロエスレル　　エ　フェノロサ

（　　）

問４　文中の太線部(ｱ)～(ｴ)の用語には誤りが一ヶ所あります。(ｱ)～(ｴ)の中から一つ選び、記号で答えなさい。

（　　）

問５　下線部③について、小国の実在を示す金印が江戸時代に福岡県の志賀島から発見されていますが、この金印に刻まれている文字がしめす小国名を、次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

ア　伊都国　　イ　対馬国　　ウ　奴国　　エ　邪馬台国

（　　）

3.　人々の生活を考える授業で、歴史で学んだ縄文時代と弥生時代と古墳時代の比較をしました。次の文章中の空欄（　1　）～（　10　）に入ることばをあとの語群から選んで答えなさい。

縄文時代の生活は（　1　）や矢が用いられ、狩りが行われていました。犬もこのころ人間と一緒に生活していました。住居は（　2　）住居といわれる住居です。村は小さく（　3　）することも容易でしたが、最近では一ヶ所に長く村を営んだ例も発見されています。

弥生時代になると、作物を栽培する（　4　）が行われ、稲作が広範囲に広がりました。そのため、農具が発達しました。稲穂の収穫には（　5　）が用いられ、木臼や竪杵は（　6　）に用いられました。保存や調理のための土器が縄文時代にまして発達しました。こしきという土器は 2 つの土器が組み合わされており、上にのせる土器にはいくつも穴があけられています。そのことから、これは食物を（　7　）のに用いられたと考えられています。

古墳時代になると、いくつもの国が勢力を争い、武器を持って戦ったようすが古墳から出土する兵士をかたどった（　8　）などからわかります。また、勢力の大きな首長がいたことは、巨大な（　9　）墳などの存在で推測できます。最近、各地域で文化財の保護が進められており、復元された（　9　）墳は、本当に大きなものだと実感できます。おそらくは前部では壮大な儀式が行われたものと推測されます。

人々の生活は、一人ひとりの食料獲得活動から、農耕の発達で大規模な村落が形成され、人々は社会的な役割を負うようになり、階層もまた分化していきました。やがて、勢力を争いクニが形成されました。5 世紀の終わりごろには、それらの勢力を統合する中央政権が（　10　）地方にできていました。

＜語群＞								
弓	土偶	農耕	蒸す	こす	竪穴	脱穀	選別	移動
抜歯	埴輪	前方後円	甕（かめ）	棺	大和	筑紫	出雲	石包丁

1（　　）　2（　　）　3（　　）　4（　　）　5（　　）

6（　　）　7（　　）　8（　　）　9（　　）　10（　　）

4.　次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

縄文時代と弥生時代では、弥生時代の方が新しい時代なのに、弥生時代の土器の種類・形態・模様がなぜ少ないのか。また、弥生時代の遺跡の方がなぜ見つけにくいのか。

問１　土器の種類・形態・模様が弥生時代の方が少ないのはなぜですか。その理由として間違っているものを、次のア～エから一つ選びなさい。

ア　縄文時代は狩猟や採集が中心の生活で、定住せずに移動が多かったので、重い土器を運ばず使い捨てにしたためである。

イ　縄文時代は、弥生時代のように稲などの農作物中心の食生活ではなく、いろいろなものを食べていたので、それに合わせて種類が多くなったためである。

ウ　弥生時代は地域的に南の方が発展していたのに比べて、縄文時代は北の方が発展しており、水稲の伝来後も東北地方を中心に縄文時代は継続され、多種多様な形態の土器が作り出されたためである。

エ　弥生時代に比べて、自然をおそれうやまう気持ちが強く、多くの神々や精霊にちなんだ模様が多いためである。

（　　）

日本の歴史1　―旧石器～弥生時代―

問２　弥生時代の遺跡の方が見つけにくいのはなぜですか。その理由として間違っているものを、次のア～エから一つ選びなさい。

ア　縄文時代に比べて弥生時代は時間的に短く、人々の移動もあまりなかったので集落の数が少ないためである。

イ　弥生時代は水稲耕作を中心とした生活であり、遺跡には水分が多いため、遺物がくさりやすいためである。

ウ　弥生時代は縄文時代とは違う高床の住居に住んでおり、地面に残るのは小さな柱あとだけなので見つけにくいためである。

エ　縄文時代の遺跡は山野に多く、近頃地域開発が進むなか、見つかりやすい状況にあるためである。

（　　）

問３　問２以外に、弥生時代の遺跡が見つかりにくい理由を次のように述べたとき、（　　）にあてはまることばを漢字２字で答えなさい。

『狩猟･採集活動が生活の中心であった縄文時代には、山野で集落を作る場合が多かったが、水稲耕作を生活の中心とする弥生時代では、（　　）で集落を作る場合が多かった。そして、その後の時代にもそこに人々が住んだため、遺跡が重なりあい、弥生時代の遺跡と特定することが難しいのである。』

（　　）

問４　弥生時代には、水稲以外の大陸の文化が伝わりました。その中で石器に代わる道具になっていくのは何ですか。漢字で答えなさい。

（　　）

5.　次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

人間はむかしから水の便がよいところでくらしてきました。縄文時代、人々は①食べ物や水を手に入れやすい台地の上などに集落をいとなみました。ある遺跡では、集落がみつかった台地を少し降りたところにわき水があり、また、集落をとりかこむように人々の生活のようすを物語る貝塚が残っています。②関東地方は東京湾の周辺を中心に、この貝塚の多いところとして有名です。

そして、弥生時代、人々は川がはんらんしたあとの低地などに、水田を作って生活するようになりました。有名な稲作の遺跡である静岡県の（　③　）遺跡は、安倍川のはんらんしたあとにあります。この低地での生活は便利な反面、常に洪水の危険にさらされ、（　③　）遺跡の人々も洪水で村を失ったことが、発掘調査からわかります。しかし、それ以上に水のめぐみは大きかったようです。

次の古墳時代、豪族は大きな川の周辺に支配地をひろげ、そこにはたくさんの古墳がつくられました。関東地方をみると、東京では多摩川の河口に近い世田谷区や大田区とその対岸の川崎市に、④埼玉県北部から群馬県にかけては、利根川や荒川、そしてこれらの支流の周辺に古墳がたくさん分布しています。

図１

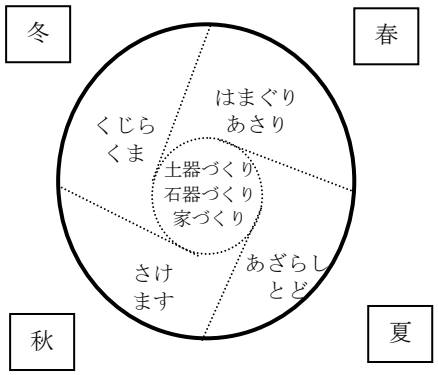
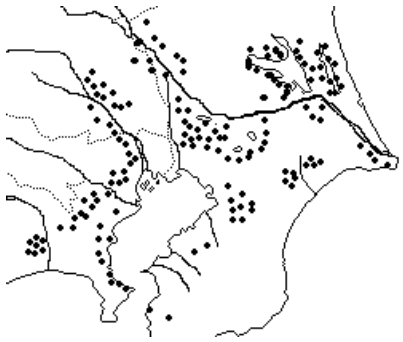


図２



問１　下線部①について、図１は、縄文時代のある遺跡の調査から分かった１年間の食べ物の変化を表したものです。この図にあげたもの以外で夏と冬を中心に得られる食べ物を、次の中からそれぞれ選び、記号で答えなさい。

ア　どんぐり・くり　　イ　いのしし・かも　　ウ　木の芽・わらび　　エ　かつお・まぐろ

夏…（　　）、冬…（　　）

問２　下線部②について、図２は、東京湾周辺の貝塚の分布を表したものです。この分布図から考えられる縄文時代の東京湾の地形についてかんたんに説明しなさい。

（　　）

問３　（　③　）にあてはまる遺跡の名前を答えなさい。

（　　）

問４　下線部④について、埼玉県北部の埼玉（さきたま）古墳群で、「ワカタケル大王」と記された鉄剣が発見された遺跡の名前を答えなさい。

（　　）

【実戦編Ｂ】

1.　右の写真は近畿地方を中心に中部地方から北九州にかけて見つかっている青銅器のひとつです。これはもともとは楽器だったと考えられますが、多くは実用品ではなく、お祭りの時に使った道具と考えられています。これについて、次の問いに答えなさい。

問１　この道具の名前は何ですか。次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア　銅剣　　イ　銅鏡　　ウ　銅鉾（どうほこ）　　エ　銅銭　　オ　銅鐸

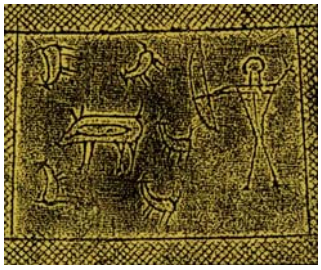
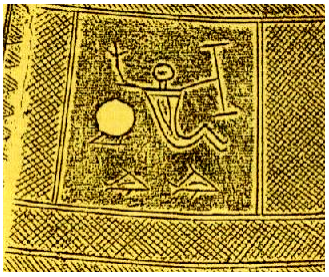
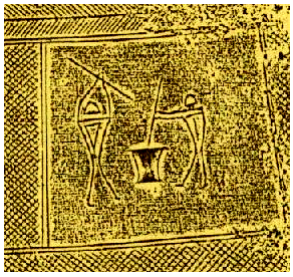
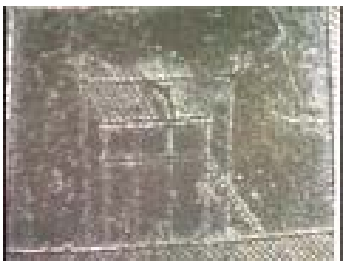
（　　）

問２　この道具の作られた時代と同じ時代の遺跡はどれですか。次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア　大森貝塚　　イ　吉野ケ里遺跡　　ウ　鳥浜貝塚　　エ　岩宿遺跡　　オ　大山古墳

（　　）

問３　この道具には多くの場合、次のような絵が描かれています。これらの図からうかがえる、この時代の生活の特徴を 100 字程度で説明しなさい。

（　　）

日本の歴史1　―旧石器～弥生時代―

2.　まず《図１》を見てください。最近、弥生時代の遺跡からこのような人の骨が次々に発見されて、人々をおどろかせています。そのなかには、この《図１》の骨のようにするどい刃物などで切り取られてしまったり、矢じりが打ち込まれていたものもあります。

次に《図２》を見てください。これは、このような遺跡が作られたころの日本列島の社会のようすをさまざまな資料をもとにしてえがいたものです。

問１　《図１》・《図２》をよく見ながら、弥生時代の社会の特徴を、次の点に必ずふれて説明しなさい。

◎この時代と前の縄文時代の社会をくらべて、生産や集落のありかたがどう変わったと考えられるか。また、その変化と、首のない死体や矢じりがうちこまれた人の骨とは、どのような関係があると考えられるか。

〔　　〕

問２　このような遺跡が見つかっているおもな地域を、《図３》の地図のア～エのなかから一つ選び、記号で答えなさい。

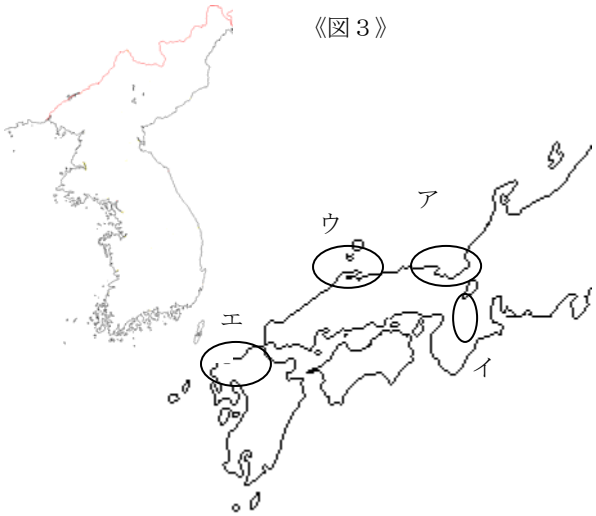
（　　）

問３　また、それらがなぜ問２の地域に集中しているのか、考えられるおもな理由を答えなさい。

（　　）

《図１》

《図３》



《図２》